

第3種郵便物認可

購読料 6カ月45,500円(税込み49,140円)前納制

宇都宮市管工事協組

# 学校の教育環境向上へ

## 市に水廻り知識を伝授

宇都宮市管工事業協同組合(中村勝理事長)は25日、市の学校業務職員を対象とする水廻り研修会を開催した。同組合青年部会(福富昭部会長)の会員が講師役を務め、

座学や実技を通して給排水設備の修繕・維持管理に必要な知識を伝え、学校教育環境の向上に寄与した。

開講にあたり、同組合の中村勝理事長は「コロナの影響で3年振りの開催となるが、研修会を通じて、水廻りに関する簡

易・応急的な修理ができ、円滑に学校業務を遂行する知識と技能を習得されることを期待する」とあいさつし、水廻り技術の習得を促した。また、同協会の教育技術委員会黒川平委員長は「前回の受講者アンケートの結果を踏まえ、図面の見方や水漏れの修理の仕方などをより充実させた。講師の

青年部は現場の最前線に出ており、一線で培われたコツなどを発見し、持ち帰ることで日常の業務に活用していただきたい」と述べ、不明な点は積極的に質問するよう呼び掛けた。

宇都宮市からは、教育委員会事務局学校管理課施設維持グループの渡邊幸美係長が、同組合のサポートに感謝の意を表した。

「学校施設には多数の給排水設備が存在するが、経年劣化による設備の不具合が生じる状況。不具合があった場合、迅速な

対応が求められるが、初動対応として適切な処置ができればその後の修繕を最小限にすることができる。この研修で設備の基礎的な知識や応急処置の技術をなるべく多く学ばせていただきたい」と

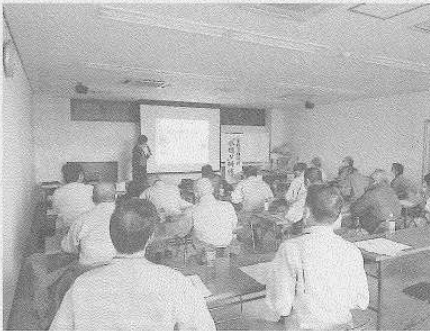
初期対応の重要性に言及した。8回目となる同研修会は、宇都宮市学校業務職員機動班と学校用務業務委託業者から12人が受講した。前半の座学では大



黒川委員長



中村理事長



市職員への講義(上)と詰まり解消の実技を体験

須賀勇貴氏(田中工業)が講義を担当し、学校の施設設備について、給排水設備の概要や基本構造を説明。写真等を参照しながら、経年劣化が及ぼす影響や適正な維持管理に関する知識を開示した。さらに図面の見方について、凡例の見方を解説し、読み解き方の説明を行った。

後半の実技では受講者は2班に分かれて、水道の蛇口の修繕と器具を使った効果的な便器のつまり解消法について、実際の作業を交えて指導を受け、水廻りの修繕について技術を学んだ。